






—  全国介護事業者連盟メールマガジン
— 
—  vol. 182

※このメールは全国介護事業者連盟会員の方へ配信しております。

- ・全国介護事業者連盟ホームページ
<https://kaiziren.or.jp/>
- ・2024年9月18日「DXなんでも相談窓口」をホームページに設置し、介護・障害福祉業界のDX促進に取り組んでいます。
<https://kaiziren-comimi.studio.site/>
- ・介護チャンネル 全国介護事業者連盟公式チャンネルに是非ご登録をお願いいたします。
https://www.youtube.com/channel/UCD50A6NnDt5Kbj1e3YJMb5Q?view_as=subscriber
- ・全国介護事業者連盟公式 Facebook ページ
<https://www.facebook.com/kaiziren>
- ・全国介護事業者連盟公式 X (旧 twitter)
<https://twitter.com/kaiziren/status/1308658754259308546?s=21>
- ・全国介護事業者連盟公式 instagram
<https://www.instagram.com/kaiziren/>
- ・本内容に関するお問い合わせ、およびメールマガジン配信先の追加（法人幹部、各事業所の管理者や職員などのメールアドレス）を希望される場合こちらまでお願いします。

Mail: info@kaiziren.or.jp

／／／／／／／／ ★目次★ ☆彡 ー／／／／／／／／／／／／／／／／／／／／／／／／／／／／／／／／

- ・全国介護事業者連盟からのお知らせ
- ・厚生労働省ニュース/内閣府ニュース
- ・介護・障害福祉ニュース



■ 全国介護事業者連盟からのお知らせ

理事挨拶

2026年4月1日より、全国介護事業者連盟理事、および関西ブロック支部 ブロック長を拝命しました西村寛和と申します。

私は京都の呉服店を経営する環境で生まれ育ちまして、28歳の時に祖母が特養に入所している姿を見て「自分に何かできることはないだろうか」と考え、民家型のお泊まりデイサービスを1カ所始めたことから、福祉事業に携わることになりました。

その後、介事連に関わるようになり、祖母が入所していた特養が介事連で活躍するメンバーの経営する施設だということがわかり、福祉の業界は思っている以上に狭いものだと、日々感じています。

会員の皆さまも、ぜひ各都道府県ごとのセミナーや総会にご参加いただき、福祉業界の未来について交流しながら共に語り、共に考え、そしてその声を国に届けてまいりましょう。

各地の総会やセミナーでお会いするときは、「メルマガ見ました」とお声掛けいただけますと幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

西村 寛和（にしむら ひろかず）

株式会社和道文化サービス 代表取締役

京都商工会議所 議員

一般社団法人全国介護事業者連盟 理事

一般社団法人全国介護事業者連盟 関西ブロック支部 ブロック長

◆『富山県支部・石川県支部・福井県支部 共催 外付け型ホーム（住宅型・サ高住）運営研究見学会 in 富山—令和9年度介護報酬改定に備える勝ち残る運営モデルとは—』のご案内（2026年5月14日）

<https://kaiziren.or.jp/wp/wp-content/uploads/2026/04/event-toyama20260514.pdf>

◆『障害福祉事業部会徳島県支部 徳島福祉アップデート2026～児発・放デイの未来を拓く～』を開催いたします（2026年5月17日）

https://kaiziren.or.jp/wp/wp-content/uploads/2026/04/IMG_7289.png

◆『障害福祉事業部会 兵庫県支部 設立総会および全国介護事業者連盟 兵庫県支部 年次総会』を開催いたします（2026年5月22日）

<https://kaiziren.or.jp/event/request/2026/hyogo0522/>

◆『全国介護事業者連盟 岩手県支部 年次総会・記念講演』を開催いたします（2026年6月2日）

<https://kaiziren.or.jp/wp/wp-content/uploads/2026/03/iwate-event20260602.pdf>

◆『障害福祉事業部会 岡山県支部 設立総会および全国介護事業者連盟 岡山県支部 年次総会』を開催いたします（2026年6月13日）

<https://kaiziren.or.jp/event/request/2026/okayama0613/>

◆全国介護事業者連盟公式 YouTube チャンネル【介護チャンネル】

アジアで3カ国目 2028年に中国で介護保険制度創設！日本の介護業界に影響は？

https://www.youtube.com/watch?v=_zhUW4xn87w

令和8年度診療報酬改定 訪問看護の見直し ホスピス型住宅の大幅減算 改定ポイント解説！

<https://www.youtube.com/watch?v=9TqnzA81Mfo>

【全国介護事業者連盟動向】

4月28日 第2回会則委員会の開催（オンライン）

4月28日 長野県支部・障害福祉事業部会長野県支部 幹事会の開催（長野県）

4月28日 神奈川県支部・障害福祉事業部会神奈川県支部 幹事会の開催（神奈川県）

4月30日 静岡県支部・障害福祉事業部会静岡県支部 幹事会の開催（オンライン）

5月1日 障害福祉事業部会兵庫県支部 幹事会の開催（オンライン）

5月6日 第6回大会運営・実行委員会の開催（オンライン）

5月9日 第16回ブロック長会議・第65回常任理事会の開催（オンライン）

■ 厚生労働省ニュース/内閣府ニュース

第55回「障害福祉サービス等報酬改定検討チーム」資料

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_72919.html

社会保障審議会障害者部会（第155回）資料

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_72830.html

財政制度分科会（令和8年4月28日開催）資料一覧

https://www.mof.go.jp/about_mof/councils/fiscal_system_council/sub-of_fiscal_system/proceedings/material/20260428zaiseia.html

第256回社会保障審議会介護給付費分科会資料

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_72489.html

人口動態統計速報（令和8年2月分）

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/geppo/s2026/02.html>

■ 介護・障害福祉ニュース

来年度の障害福祉報酬改定へ議論開始 財務省「更なる適正化を」費用膨張への対応など焦点

<https://www.joint-kaigo.com/articles/45833/>

障害福祉サービスの人員欠如減算、最大3ヵ月猶予へ 厚労省方針 人材確保の難しさ考慮

<https://www.joint-kaigo.com/articles/45778/>

【障害福祉】就労継続支援、不適切サービス是正に向け自治体の運営指導強化へ 厚労省が好事例を提示

<https://www.joint-kaigo.com/articles/45741/>

介護現場のとろみ給茶機や飲料サーバー、再加熱カート、補助金の申請スタート

<https://www.joint-kaigo.com/articles/45842/>

ケアマネ新類型「施設介護支援」、介護報酬を「適正化すべき」財務省が要請

<https://www.joint-kaigo.com/articles/45813/>

居宅介護支援の報酬に状態改善のインセンティブを 財務省が提言

<https://www.joint-kaigo.com/articles/45797/>

訪問介護・通所介護の賃上げ、テクノロジー導入を要件に 財務省 ケアプー急拡大受け要請

<https://www.joint-kaigo.com/articles/45823/>

「介護情報基盤」導入の助成金、申請受付が始まります！ 5月7日から カードリーダー購入など補助

<https://www.joint-kaigo.com/articles/45804/>

財務省、介護サービスは「利益率が高い」報酬の適正化を要請 2027年度改定で

<https://www.joint-kaigo.com/articles/45788/>

医師会、介護報酬改定のサイクルを「2年に1度に」審議会で提言

<https://www.joint-kaigo.com/articles/45766/>

来年度の介護報酬改定へ議論開始 厚労省が論点提示 最大の焦点は賃上げと経営安定

<https://www.joint-kaigo.com/articles/45756/>

財務省、介護分野は「経営層の意識改革が必要」現場の生産性向上へ注文

<https://www.joint-kaigo.com/articles/45721/>

高市首相、介護離職を「どうしても防止したい」家事支援の国家資格の新設を指示

<https://www.joint-kaigo.com/articles/45699/>



賛助会員広告【株式会社 EM システムズ】



【AI×クラウドで介護・障害福祉の現場を革新しませんか？】

日々の介護記録や国保連請求、スタッフ間の情報共有など、煩雑な業務に追われていませんか？

株式会社 EM システムズが提供する「MAPS for NURSING CARE」は、現場の作業効率を劇的に改善する一体型業務支援システムです。

■ 本システムの主な特徴

AI 機能搭載：最新技術で日々の記録業務をサポートします。

ロケーションフリー：場所を問わず、どこからでもアクセス可能です。

外部連携も充実：センサーや見守り機器との連携、請求書の WEB 配信も対応（オプション）。

幅広いサービスに対応：訪問・通所・入所・小規模多機能などの介護サービスから、訪問系・就労支援・児童福祉などの障がい福祉サービスまで網羅しています。

現在、上記以外のサービスも順次リリース予定です。「業務負担を軽減し、もっと利用者様と向き合う時間を作りたい」とお考えの皆様、ぜひこの機会に詳細をご確認ください。

【お問い合わせはこちら】

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSd5kBw3UsBLEI5x1hP-mZNexvHrU0e04rujt9BebD3ZKLH1_g/viewform

【製品ご紹介ページ】

https://service.emsystems.co.jp/maps_series/for_nursingcare/



■ 編集後記

介護報酬改定を2年に1回に？ 介護給付費分科会で委員が提言

4月27日の社会保障審議会介護給付費分科会で、委員の一人が介護報酬改定の頻度を2年に1度に変更することを提言しました。

今後も物価や水道光熱費などの上昇が予想されます。国内の最低賃金は今後も上がり続けるでしょう。「介護事業者を取り巻く環境の変化の速さに、3年に1回の報酬改定では十分に対応できない」というのが提言の理由です。また、介護と医療の連携が強まる中では、診療報酬と改定頻度を揃えた方が好都合という事情もあるでしょう。

一見すると介護事業者のメリットは大きいようですが、デメリットが無いわけでもありません。報酬改定時には、経営への影響を分析した上で、加算を算定するかなどの検討、設備投資や採用戦略の見直しなどの煩雑な業務が発生します。その回数増加は大きな負担です。今回はあくまでも一委員の提言で、今後の議題になるかどうかはわかりません。

しかし、介護経営者としては気にかけておくべき話と言えるでしょう。

【配信元】一般社団法人全国介護事業者連盟 <http://kaiziren.or.jp/>

〒102-0083 東京都千代田区麹町4-3-1 麹町富士ビル5階

TEL：03-5215-5063 FAX：03-5215-5064

掲載内容の無断転載・再配布は固く禁じます。配信不要の方はこちらにご連絡ください

info@kaiziren.or.jp